

ご説明資料

2010年1月14日
職場における受動喫煙防止対策
に関する検討会

日本たばこ産業株式会社

次第

はじめに

普及啓発活動

具体的な分煙環境整備活動

- ①店頭表示活動
- ②喫煙場所設置活動
- ③分煙コンサルティング活動
- ④未来の分煙に向けた取組

まとめ

一般の職場での対策

顧客が喫煙する職場での対策

国の受動喫煙防止対策に対する要望

はじめに

たばこを吸われる方と吸われない方の共存

たばこの煙は、周囲の方々に、眼、鼻および喉への刺激や不快感などを生じさせることがあります。また、たばこの煙やにおいを好まない方や、乳幼児など煙を避けることができない方にとっては、たばこの煙は多大な迷惑となります。また、人ごみの中での喫煙は、周囲の方々に對し、迷惑であるばかりか危険を与えることもあります。更に、吸殻のポイ捨ては街や自然の美観を損ない、また火が完全に消えていない場合には火災の原因となるおそれがあります。

私たちは、公共場所における適切な分煙等の喫煙をめぐる環境の改善により、たばこを吸われる方と吸われない方が共存できる調和ある社会が実現されることが望ましいと考えています。私たちとしても、そのために引き続き積極的な取組を行っていきます。

(JT websiteより抜粋)

JT website : <http://www.jti.co.jp/corporate/enterprise/tobacco/responsibility/coexistence/index.html>

はじめに

受動喫煙による健康影響

環境中たばこ煙は、喫煙者が吸入した煙(主流煙)の吐出煙と、たばこの先端から出る煙(副流煙)とが、空気中で拡散し、薄められたものです。また、このような環境中のたばこ煙を喫煙者の周囲の人が吸い込むことを「受動喫煙」と呼ぶことがあります。

環境中たばこ煙は、周囲の方々、特にたばこを吸わないの方々にとっては迷惑なものとなることがあります。また、気密性が高く換気が不十分な場所では、環境中たばこ煙は、眼、鼻および喉への刺激や不快感などを生じさせることがあります。このため、私たちは、周囲の方々への気配り、思いやりを示していただけるよう、たばこを吸われる方々をお願いしています。また私たちは、公共の場所等での適切な分煙に賛成し、積極的に支援しています。

一方、環境中たばこ煙は非喫煙者の疾病の原因であるという主張については、説得力のある形では示されていません。環境中たばこ煙への曝露と非喫煙者の疾病発生率の上昇との統計的関連性は立証されていないものと私たちは考えています。また、環境中たばこ煙は、空気中で拡散し、薄められているので、喫煙者が吸い込む煙中の成分の量と比べると、非喫煙者が吸い込む量は極めて少ないものです。動物で発がん性を評価する試験においても、環境中のたばこ煙により、腫瘍を発生させることは極めて困難です。

なお、乳幼児、子供、お年寄りなどについては、特段の配慮が必要です。例えば乳幼児や子供に関しては、未就学期における環境中たばこ煙への曝露と喘息の悪化等の呼吸器症状との関連性について報告した疫学研究が多数あります。乳幼児、子供、お年寄りなどは環境中の物質による刺激に対して特に敏感であったり、また自分で意思表示をしたり場所を移動したりすることが難しい場合があるため、その周りでの喫煙は控えることをお勧めします。

はじめに 普及啓発活動 分煙に関する普及啓発

website (<http://www.bun-en.com/>)

テレビ広告

JT 吸う人のために。吸わない人のために。
分煙の取り組みや事例の広がりをご紹介します。

分煙をお考えの方へ
① 分煙の基礎知識 ② オフィスの分煙について ③ 飲食店の分煙について ④ 家庭の分煙について ⑤ 分煙ご相談窓口

あなたにもできる分煙サポート!

自分で作れる分煙ポスター
NEW
分煙アイテム

JTの分煙への考え方

分煙はいろいろな分煙へ。

>メッセージを読む

空間分煙

喫煙所内に新しい技術を取り入れることで、煙を喫煙所の外に出さないようにするとともに、より明るく、開放的な喫煙所となるよう工夫をした分煙です。



時間分煙

たばこの吸える時間と吸えない時間を設け、喫煙環境を時間で分けるタイプの分煙です。



分煙コンサルタント

分煙コンサルタントは、依頼された施設に適した分煙環境の提案や、喫煙環境の問題点について相談を受け、アドバイスを行っています。



選択分煙

お店の入り口の表示により、たばこの吸えるお店が、吸えないお店かを予め伝えることで、どのお店を利用するかを選択して頂く分煙形式です。



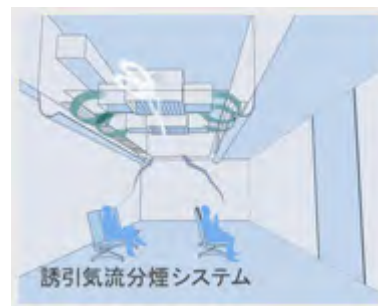
未来の分煙

快適な新しい分煙空間を作る未来のアイデアを一般から募集する「SMOKERS' STYLE COMPETITION」を実施しています。



その他の分煙事例

その他の分煙事例はこちらでご紹介しております。

分煙ニュース「空港」編



分煙ニュース「時間帯」編



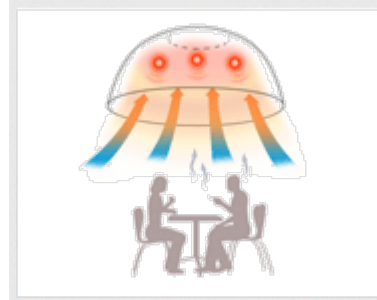
分煙ニュース「分煙ポリシー」編



分煙ニュース「自分で選べる」編



分煙ニュース
「広がる分煙施設」編



分煙ニュース「アイデア」編

はじめに 具体的な分煙環境整備活動

①店頭表示活動

選択分煙について

選択分煙 について

お店の入り口の表示により、たばこの吸えるお店か、吸えないお店かを予め伝えることで、どのお店を利用するかを選択して頂く分煙形式です。

JT 吸う人のために。吸わない人のために。分煙をお考えの方へ
分煙の基礎知識 ● オフィスの分煙について ● 飲食店の分煙について ● 家庭の分煙について ● 分煙ご相談窓口

トップページ : JTの分煙への考え方 : 空間分煙 : 時間分煙 : 分煙コンサルタント : **選択分煙** : 未来の分煙 : その他の分煙事例

選択分煙について

お店の入り口の表示により、たばこの吸えるお店か、吸えないお店かを予め伝えることで、どのお店を利用するかを選択して頂く分煙形式です。

自分で作れる分煙ポスター **NEW**

分煙アイテム

分煙ニュース「分煙ポリシー」篇
※CD等の発売予定はありません

分煙ニュース「自分で選べる」篇
※CD等の発売予定はありません

たばこが吸えないお店のサイン例

分煙のお店サイン例

Copyright © Japan Tobacco Inc. all rights reserved.

はじめに 具体的な分煙環境整備活動

①店頭表示活動

自分で作れる分煙ポスター

はじめに 具体的な分煙環境整備活動

②喫煙場所設置活動(空港)

成田国際空港 国際線(千葉県)

年間3,200万人の利用者数を誇る成田国際空港。こちらの国際線第2ターミナル本館3階・国際線搭乗待合室に、「スモーキング・ラウンジ」がオープンしました。

今回ラウンジが設けられたのは、これまで喫煙所がなかった北側出国審査場のすぐ隣。たばこの煙やニオイを外部にもらさぬよう排気設備などを備えました。

(2006年1月設置)



新千歳空港(北海道)

年間1,800万人以上の乗客が利用する、新千歳空港の旅客ターミナル2階・ホールディングルームに、5カ所設けられた喫煙スペースです。内部には、天井部で気流を制御する“誘引気流分煙システム”を導入。これにより、ドアがなくても、煙やニオイが喫煙スペース外へ漏れることはありません。

灰皿の周囲には、ミッドセンチュリーなチェアも配置され、待ち合い中に安らぎの時間を演出してくれます。

(2003年10月設置)



はじめに 具体的な分煙環境整備活動

②喫煙場所設置活動(駅)

阪急梅田駅構内喫煙所(大阪府)

阪急梅田駅の構内・中央改札を入れて右奥のスペースに新設された”Station Lounge”です。

ラウンジの先には、スタンディング形式で喫煙できるモニュメントが飾られ、それらを囲むようにベンチも配置。始発～終電まで駅のオープン時間に合わせ、いつでも利用することが可能であり、人々の待ち合わせスポットにもなっています。

(2008年12月設置)



八重洲地下街(東京都)

東京駅に直結する八重洲地下街内／オレンジ・ロードの南北に設けられた喫煙スペースです。カウンター式灰皿&スタンド灰皿が設置された「サウススポット」と、スタンド灰皿のみで構成された「ノーススポット」の2カ所があり、10:00～22:00までの利用が可能となっています。

いずれも緊急時の避難場所に指定されているため、完全なオープン・スペースになるように、出入り口や一部の壁面が、収納式の構造になっています。

(2007年10月設置)



はじめに 具体的な分煙環境整備活動

②喫煙場所設置活動(オフィス)

丸の内パークビルディング (東京都)

ショップやレストランに加え、丸の内に芸術・文化を発信する「三菱1号館美術館」や、緑豊かな広場を備えるオフィスビルの5階に喫煙スペースが新設されました。

1つの大きな個室のなかに存在するのは、それぞれが異なる表情を持った4つのコーナー。出入り口のスタンディング・スペースをはじめ、“プラズマ・ディスプレイ”の下のベンチ・コーナー、窓際のテーブル・スペース、個室奥のソファ・コーナーと、1人から多人数まで、個々のシチュエーションに応じて選択・利用することができます。

(2009年5月設置)



汐留住友ビル (東京都)

汐留の再開発地区に竣工したオフィス・ビルに、2つのスタイルの喫煙スペースが設置されました。

汐留駅と直結する地下1階には、ビルの稼働時間と併せ、朝5時～深夜24時まで利用可能な個室型の喫煙スペースが登場。インテリアとして携帯灰皿がディスプレイされているほか、モダンな灰皿&スツールが配され、利用者の好評を得ています。

地下1階のビルの脇には屋外型の喫煙スペースを配置。人でにぎわう汐留エリアのマナーの向上にひと役かっています。

(2009年4月設置)

